

## ＜古谷純代委員ご意見＞

令和 7 年 12 月 22 日（月）

第 1 回県立施設運営活性化懇談会

### 【高知県立美術館についての意見】

- ・ 自分が知っている限りでも、企画がよければ他県から宿泊付きで来る方もいらっしゃる。そういった方に対する割引制度を設けるなども考えられるのではないかと。
- ・ 連日のパスポートを用意することも検討してはどうか。企画によっては、短時間では見れない場合もあり、2日に分けて見ることで違う感動もある。施設の魅力向上においては、企画展の質が大きな要素になると思う。
- ・ ホール、能楽堂、映画上映など、複数の設備を構えているところもユニーク。景観もすごく良いし、ほっとする癒やしの空間であり、持っているハード面の魅力を生かしてほしい。
- ・ 高知県内の方は文化に触れる機会が不足しており、文化意識が醸成されにくい環境ではないかと思う。幼少期の頃からの文化に触れられる環境作りも大事。美術館は現状でも十分頑張ってくださっていると思うが、これまで以上に頑張っていたきたい。
- ・ 今の方は質の高いものに対しては、対価を惜しまないと思っている。高いものでも提供することにより、文化意識も高まっていく。

### 【高知県立牧野植物園についての意見】

- ・ 「らんまん」の効果は県内でもまだ続いており、引き続き多忙なことと思う。
- ・ 牧野植物園は、頻繁に行く施設ではないが、安心して子どもを連れて行ける場所だと考えている。綺麗な景観も1つのセールスポイントになると考えている。心が癒やされる空間。
- ・ 近場に竹林寺があり、園内が四国八十八ヶ所霊場の遍路道であることも魅力。
- ・ こうした園の特色や研究の効果について、現在も広報をされていると思うが、全国に向けてさらに広報を強化することも検討してはどうか。
- ・ 職員の方々は引き続き多忙であり、新しい事業を実施することが難しいところはあると思う。例えば、元気な高齢者の方に協力を仰いでボランティアの活動などを行っていただくことも検討できないか。健康寿命の延伸にも寄与することが期待できる。